



NFCシンポジウム

映画におけるデジタル保存と 活用のためのシンポジウム

Symposium on the Digital Preservation and Archival Use of Film Collections

2000年以降、映画の製作・上映におけるデジタル化が急速に進み、フィルムを使用しない撮影・編集・映写等が主流となり、保存メディアを含め、様々な機材・システムが用いられるようになりました。

このような状況のもと、我が国の映画を適正に保存・管理し、映画文化の継承を図るため、フィルムセンターでは「映画におけるデジタル保存・活用に関する調査研究事業」を実施しています。本シンポジウムでは、これまでの事業の取り組みについて紹介するとともに、関係する方々の講演を併せ、デジタル映画のこれからの保存と活用について考えます。

- ◆主 催： 東京国立近代美術館フィルムセンター
- ◆開催日： 2017年1月26日(木)~27日(金) 2日間
10:30 開会【10:00 開場】
- ◆会 場： 東京国立近代美術館フィルムセンター 大ホール(2階)
- ◆定 員： 250名(先着順)
- ◆参加費： 無料(事前申込制)
- ◆NFCシンポジウム事務局： nfc-sympo@bwt.jtb.jp

東京国立近代美術館フィルムセンター
National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo



映画におけるデジタル保存・活用に関する調査研究事業
(Born-Digital Cinema project)

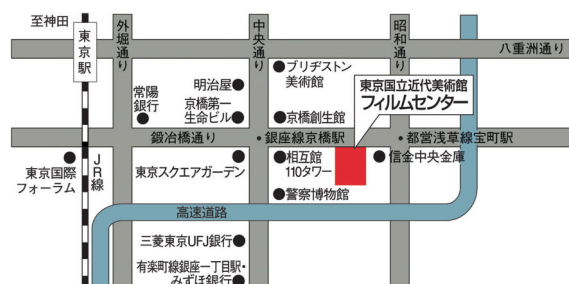


文化庁
Agency for Cultural Affairs



フィルムセンターは長瀬映像文化財団の支援を受けています。

平成28年度美術館・歴史博物館重点分野推進支援事業



東京国立近代美術館フィルムセンター 東京都中央区京橋3-7-6

交通アクセス

- ・東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
- ・都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
- ・東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
- ・JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

NFCシンポジウム：「映画におけるデジタル保存と活用のためのシンポジウム」

Symposium on the Digital Preservation and Archival Use of Film Collections

1/26(木) 現状と課題 10:30~17:00

開会挨拶

馬淵 明子 東京国立近代美術館長

基調講演：ポストアナログ時代のフィルムアーカイブ

岡島 尚志 フィルムセンター 主幹

第一部：日本映画のデジタル化の変遷

総論 ～ 撮影・VFX・上映を中心に ～

佐崎 順昭 三浦 和己 フィルムセンター

アニメ・CG 編

馬渡 貴志 一般社団法人 日本映画テレビ技術協会

音声 編

港 郁雄 協同組合 日本映画・テレビ録音協会

休 憩

第二部：映画におけるデジタル化の現状

デジタル映画の保存に対する警鐘とこれまでの動向

大関 勝久 フィルムセンター

日本の映画界におけるデジタルデータの保存と活用の現状

佐崎 順昭 フィルムセンター

デジタルアーカイブの取り組み、スキャンからMAMシステム導入まで

五十嵐 真 株式会社松竹映像センター

アニメーションにおけるデジタル保存の現況と先進的な取り組み・展望

吉田 力雄 一般社団法人 日本動画協会

存在の耐え難き軽さ ～デジタルメディアの命運～

松本 圭二 福岡市総合図書館

フィルムセンターにおけるデジタル化の取り組み

大傍 正規 フィルムセンター

第三部：映画におけるデジタル保存と活用の課題

技術的課題の整理 ～映画とデジタルを技術的側面から眺めて～

中西 智範 フィルムセンター

国立国会図書館におけるデジタルデータの長期保存

本田 伸彰 国立国会図書館

デジタル社会とフィルムアーカイブの法的課題

松山 ひとみ フィルムセンター

文化・記録映画の著作権情報に関する調査を担当して

中嶋 清美 公益社団法人 映像文化製作者連盟

1/27(金) 対応と今後 10:30~18:00

第四部：映画におけるデジタルデータの保存対象

映画におけるデジタルデータの保存対象

三浦 和己 フィルムセンター

シーンリニアワークフロー / ACESとアーカイブにおけるその展望

亀村 文彦 株式会社ロゴスコープ

デジタルマスターの考え方

清野 晶宏 株式会社IMAGICA

映画音響制作の進化と将来(Dolby Stereoから Dolby Atmosへ)

河東 努 コンチネンタルファースト株式会社

休 憩

第五部：映画におけるデジタルデータの保存方法

デジタルにおける保存の基本とフィルムセンターの取り組み

岡本 直佐 フィルムセンター

映画アーカイブにおける映像データの長期保存システムの調査研究の成果について

杉野 博史 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ

持続可能な「システム」と「コミュニティ」とは

中西 智範 フィルムセンター

たゆまぬ発展と進化を続けるデジタルアーカイブを創るには

金子 晋丈 慶應義塾大学

第六部：映画におけるデジタルコレクションの公開と活用

公開のためのデジタル化とデジタル文化資源の活用

松山 ひとみ フィルムセンター

デジタルアーカイブに関わる法政策の国際的動向

生貝 直人 東京大学

映画をめぐるリンク

神崎 正英 ゼノン・リミテッド・パートナーズ

連想技術によるデータベース間の関連性の発見と活用

丸川 雄三 国立民族学博物館

第七部：今後に向けて

フィルムアーキビストに〈新たに〉求められる知識と技術

三浦 和己 フィルムセンター

パネルディスカッション 映画におけるデジタルシフトへの対応を誰が、どう担ってゆくか

閉会挨拶

岡島 尚志 フィルムセンター 主幹

○講演者、演題は変更になる場合があります

○最新の講演情報は、当館ホームページにてお知らせいたします